

ていこい白木について

無から有を創る

20年ほど前から毎月、福岡市内でフラメンコ教室を行っていましたが、東京と福岡市の往復だけで、なかなかふるさとの八女まで足を伸ばすことができませんでした。教室には八女市在住の生徒さんもあり、縁あって2年前から八女市総合体育館でも月に1回教室を持つことができるようになりました。

舞踊生活も長いものになり、ふるさと八女の地で多くの方々とふれあい、語らい、楽しみながら、難しいけれど奥の深いフラメンコの魅力を広く紹介していきたいとの思いがふくらみました。

旧友や後援会、周囲のみなさんの支援等があって、祖父母が暮らした白城の里旧大内邸の傍に、ライブのできる庵「ていこい白木」を作ることができました。12月からフラメンコ教室を開始することができ、無から有を創る「種」をまくことができました。

生活の一部にフラメンコを

フラメンコと聞けば、艶やかなダンスをイメージされる方も多いと思いますが、その起源は「歌」です。生活の中から自然に生まれてきた魂のこもった歌に、ギターと踊りが幾重にも積み重なって、歌・ギター・踊りが三位一体となった現在のフラメンコへ成長してきました。この庵を拠点に、お子さんからシニア層までを対象とした、フラメンコ教室を開催し、多くの方がフラメンコと出会い、生活の一部として楽しんでもらいたいと思っています。

学ぶ場、交流の場、そして発表の場として

私がここで教室を行うのは、月1回程度となります。多くの方々の支援を受けて作ったこの施設も、使わなければ宝の持ち腐れとなってしまいます。私は、舞踊に取り組むものとして、多くの方々に学ぶ場、交流の場、そして発表の場として、この「ていこい白木」を活用していただきたいと考えています。

ステージと客席だけでなく、キッチンも兼ね備えています。フラメンコだけではなく、フラダンスをはじめとした数々の舞踊等のレッススタジオとして、また発表会や仲間との語らいの場として活用していただければと考えています。

アクセスマップ



ていこい白木

〒834-0084
福岡県八女市立花町白木3232-1
駐車場完備

お問い合わせ
ていこい白木音楽文化振興協会
mail teikoys Shiraki@gmail.com



山本壬子(やまもとていこ)

八女市立花町白木出身。

小学のころよりクラシックバレエやモダンダンスを習い、上京後、小松原庸子氏に師事。

1987年、山本壬子スペイン舞踊研究所を開設。

『'88東京エキコン』(東京駅丸の内口)、アジア太平洋博覧会等に出演するなど、国内各地での祭典や舞台に多数出演。

同年6月、山本壬子後援会発足。

1989年、『オーケストラハウス』(日本テレビ)に出演、読売日本交響楽団と共演(昭和女子大人見記念講堂)。

同年8月、アジア太平洋博覧会(よかトピア)に出演。

1990年、『スペインクラシカルイリュージョンコンサート』(原宿ラフォーレミュージアム)。

1992年、スペインより実力派舞踊家ホアキン・ルイスを招き、リサイタル『DANZA Y RITOMO FLAMENCO』(東京よみうりホール)。

1993年、『スペインクラシカルイリュージョン』(下北沢タウンホール)開催。

1996年、『ラテンクラシコの夜』(オーチャードホール)で東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。

2006年、国民文化祭・やまぐち2006に於いて、地元の話話を題材にした創作フラメンコ『アモール・デ・お菊』の企画・プロデュース・振付・舞踊指導を行い、大きな話題を呼んだ。

現在、東京都中央区月島のスペインレストラン『月島スペインクラブ』をはじめ、全国各地のステージやライブ活動のかたわら『山本壬子スペイン舞踊教室』を主催。東京・山口・福岡の教室で後進の指導にも従事している。